

## 二〇二二年度 茨城キリスト教大学一般選抜入学試験二期

### 国語

(解答は解答用紙に記入すること)

I 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

(A) アメリカの経済学者ケネス・ポールディングは『来るべき宇宙船地球号の未来』(一九六六年)の中で、常に新しいフロンティアを求め発展しようとする [a] なカウボーイ経済の限界を論じた。また、アメリカの環境学者デニス・メドウズらは『成長の限界』(一九七二年)の中で、資源の枯渇や汚染の増大によって人類の成長にはいずれ限界が訪れると警鐘を鳴らした。最近でも、ヨーロッパの研究者を中心として、プラネタリーバウンダリー(惑星「地球」の限界)という概念が提示されている。地球システムの要素には、その値を超えると人間社会や環境に深刻な悪影響が生じたり、取り返しのつかない事態を招いたりする閾値が存在しているのではないか、というのである。具体的には、生物圏の無欠性(無傷であること)や、主に農業に関わる窒素やリンの循環などについては、その閾値を超えてしまっているのではないかと指摘されている。

右肩上がりで人口が増え続け、水やエネルギー、食料、そのほかの資源の消費や環境汚染が増大し続けられ、どこかで破綻するのではないかと空恐ろしさを抱く [b] な感情は理解できる。しかし、国連の推計によれば、想定にもよるが、指数関数的なカーブを描いて上昇する人口増加の時代はすでに終わっており、現時点で人口の増大はほぼ直線的となっている。今後は増加率が [c] し、二一世紀の終わり頃には、世界人口は一〇〇億人前後でピークを迎えそうである。世界に先駆けて二〇〇八年に人口のピークを迎えた日本のあとを追うように、世界各国が今後人口のピークを迎えていくのである。

こうした想定どおりに人口が推移するならば、資源の枯渇などによる破滅的な事態を懸念するよりは、むしろ今後一〇〇年「地球が人類で一番満ち溢れ混雑している時代」をどう乗り越えていくのかを展望し、戦略を構築する方が大事である。(↑B)

プラネタリーバウンダリー的な発想では、破滅を避けるためには、経済発展を犠牲にしても消費を減らすなど、社会の抜本的な変革(transformation)も有効であるかもしれない。 [d] 、急激な気候の変化が悪影響を及ぼすのと同様、急激な社会変化の副作用も過小評価してはならない。アダム・スミスも「改革は徐々に」と述べているそうである。

また、「欲望の赴くままに消費する生活を悔い改めて質素に暮らすべきだ」といった主張は伝え方に注意が必要である。第2章でも述べたとおり、

水や食料やエネルギー、あるいはお金を十分に使えない人たちが世界にはまだ数多くいて、それは誰かが使いすぎているからではなく、十分に使える社会の仕組みが構築されていないからである。つまり、健康で文化的に人間らしく暮らすために必要な水や食料やエネルギーをもっと使えるようになる努力も一方ではまだまだ大事なのである。

これ以上の開発は不要で、地球の自然環境も社会も現状に固定するのが一番だ、という非常に保守的な主張 (protectionism) をするのは、よほど現状に満足している幸せな人たちに違いない。しかし、まだまだ開発を望んでいる多くの人たちへの配慮も必要なのではないだろうか。また、昔の暮らしは良かったから以前のような牧歌的な社会に戻るべきだ、といった個人的な e を他人に強制するのは、共感が得られた場合に限定するべきだろう。

(C) 利得よりは損失を重く見て、現状維持にこだわるというのは、行動経済学のプロスペクト理論 (将来の不確実な利益と損失の選択に関する理論) から理解できる。現状ができるだけ長く維持されるように望む場合には、将来価値を高く (割引率を低く) <sup>注6</sup> 見積もりがちである。他方、発展に伴う変化を期待している場合には、将来価値は低く (割引率は高く) 認識するものである。気候変動対策など、長期的な地球環境問題解決への投資の価値を低く受け止めがちになる、という点についても、そうした見解の違いを理解しておく必要がある。すなわち、持続可能な社会を目指そうというのは、現状に満足している人が相対的に多い先進国の論理であり、現状にはまだまだ不満でさらなる開発や変革を求める人の多い途上国では、将来のための投資よりは現状の改善に向けた取り組みをより高く評価する。(↑D) そのため、先進国は二酸化炭素など温室効果ガス排出の削減である f に、途上国は気候変動の悪影響を減らそうとする g に重点を置きがちなのである。

(沖大幹『水の未来』より)

注1 ケネス・ボールドディング：一九一〇年生まれ、一九九三年没。

注2 デニス・メドウズ：一九四二年生まれ。

注3 閾値：……… 数値的な境目、境界線となる値。ここでは、環境に深刻な悪影響を及ぼすかどうかの境目の値のこと。

注4 アダム・スミス：……… イギリスの哲学者・経済学者。一七二三年生まれ、一七九〇年没。『国富論』等を著し、現代に繋がる経済学の基礎を築いた。

注5 第2章でも述べたとおり： 本文章は『水の未来』の終章であり、ここでは前に述べた文章を踏まえている。

注6 割引率：……… 将来、獲得できると予想される収益などを現在の価値に換算する割合のこと。

問一 空欄 a～e に最もふさわしい言葉をア～エから選び、記号で答えなさい。

- |   |          |           |
|---|----------|-----------|
| a | ア 収益的    | イ 収拾的     |
|   | ウ 収穫的    | エ 収奪的     |
| b | ア 純真     | イ 素朴      |
|   | ウ 正直     | エ 卑俗      |
| c | ア 増大     | イ 停滞      |
|   | ウ 減少     | エ 固定      |
| d | ア そして    | イ しかし     |
|   | ウ また     | エ ところで    |
| e | ア ノスタルジー | イ アナクロニズム |
|   | ウ メランコリー | エ ロマンチズム  |

問二 空欄 f、g に入る言葉として、以下のア～エの組み合わせの中で、最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- |   |               |
|---|---------------|
| ア | f 予防策 + g 善後策 |
| イ | f 緩和策 + g 適応策 |
| ウ | f 持続策 + g 開発策 |
| エ | f 妥協策 + g 積極策 |

問三 (A↓) (↑B) の文章の主旨を百字以内にまとめ、かつ小見出しを十二字以内で付けなさい。

問四 以下の表は(C↓)(↑D)の内容をまとめたものである。空欄①～⑥にふさわしいものを、ア～カから選び、表を完成させなさい。

経済成長の状況	発展途上国	先進国
利得と損失	①	②
将来価値	③	④
現状の持続と改善	⑤	⑥

- ア 利得よりは損失を重く見る
- イ 利得より損失を重くは見ない
- ウ 将来価値を高く見積もる
- エ 将来価値を低く見積もる
- オ 現状の改善をめざす
- カ 持続可能な社会をめざす

問五 次の1～6の文で、本文の内容にふさわしいものには○、そうでないものには×をつけなさい。

- 1 ヨーロッパ以外の研究者も、地球の限界や破綻についてもっと真剣に検討すべきである。
- 2 世界人口は増加のピークを迎えつつある。よって環境問題について深刻に考える必要はない。
- 3 アダム・スミスの言う「改革は徐々に」は環境問題にも当てはまる。
- 4 消費を第一にする今の全世界的な生活様式は、改めなければならない。
- 5 水やエネルギーなどの資源を十分に使えない人たちが、この世界にはまだまだ多く存在する。
- 6 現状以上の開発は不要だと考える保守的な主張は、資源を使えない人たちがまだまだ多く存在する以上、許されない。

## II

問一 次の①～⑤の傍線部の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- ① その改革案には、委員が挙つて賛成票を投じた。
- ② アルバイトだけで家計を賄うのは大変だ。
- ③ 希望者に無料でカタログを頒布する。
- ④ そのアイドルの存在こそが、日々を生きる糧となった。
- ⑤ 窓を開けると、都会の喧噪が一気に押し寄せてきた。

問二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 政情が安定していると思われた地域に、戦争がポツパツした。
- ② 悪天候のため、コウレイの行事が軒並み取りやめになった。
- ③ 昨日、白昼のソゲキ事件が起こった。
- ④ 両者の関係にキレツが生じた原因は不明である。
- ⑤ この子は、決してオクビョウな性格ではない。

問三 次の①～⑤の四字熟語中の□に当てはまる漢字を、それぞれa～dの中から選び、記号で答えなさい。

- |   |      |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 同□異曲 | a | 興 | b | 功 | c | 考 | d | 工 |
| ② | 虚心坦□ | a | 懷 | b | 戒 | c | 快 | d | 開 |
| ③ | 自然□汰 | a | 鬪 | b | 倒 | c | 淘 | d | 統 |

- ④ 徒手空□      a 研      b 劍      c 顕      d 拳
- ⑤ □大妄想      a 古      b 誇      c 虚      d 孤

問四 次の①～⑤の慣用句（傍線部）中の漢字が正しければ○、間違っていれば正しい漢字一字を書きなさい。

- ① 母親にしかられた子は、青葉に塩のように普段の元気をなくしてしまった。
- ② 取引相手のあまりに横柄な態度に、彼は景色ばんで席を立った。
- ③ 部長は私の提案を齒我にもかけない様子だった。
- ④ 権威を誇示する彼女の態度は、まるで虎の威を借る狐だ。
- ⑤ 父親の理不尽な振る舞いに、彼女は怒り身頭に発した。

問五 次の①～⑤の意味を表す語句として最もふさわしいものを、それぞれa～dの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 嫌気がさすこと。相手の勢いに圧倒されてしりごみすること。  
a 抑圧      b 逡巡      c 躊躇      d 辟易
- ② まじめで熱心なこと。  
a 率直      b 清廉      c 真摯      d 忠実
- ③ いろいろ思い悩み、苦しむこと。  
a 錯綜      b 思念      c 悲嘆      d 煩悶
- ④ 当てもなく歩き回ること。さまようこと。  
a 彷徨      b 行脚      c 歴訪      d 巡行
- ⑤ 多くの中のほんの一部。極めて小さい部分。  
a 寸暇      b 片鱗      c 僅少      d 一環

国語 解答用紙

I

問一	a
	エ
	b
	イ
	c
	ウ
	d
	イ
	e
	ア

問二	イ
----	---

〈小見出し〉

問三	惑星の限界と人口ピーク
----	-------------

（十二字）

小計
----

小計
----

小計
----

総計
----

受験番号	
------	--

〈主旨〉

多くの学者が地球環境の限界を指摘しその破綻を予測するが、世界人口は破壊的な事態を懸念する。この態度を懸念する。乗越え、たため、具体的な戦略でこの問題を。

（百字）

小計
----

II

問四	① イ
	② ア
	③ エ
	④ ウ
	⑤ オ
	⑥ カ

小計
----

問五	1 ×
	2 ×
	3 ○
	4 ×
	5 ○
	6 ×

小計
----

問一	① こそって
	② まかなう
	③ はんぷ
	④ かて
	⑤ けんそう

小計
----

問二	① 勃発
	② 恒例
	③ 狙撃
	④ 亀裂
	⑤ 臆病

小計
----

問三	① d
	② a
	③ c
	④ d
	⑤ b

小計
----

問四	① 菜
	② 気
	③ 牙
	④ ○
	⑤ 心

小計
----

問五	① d
	② c
	③ d
	④ a
	⑤ b

小計
----